

こんにちは！

いきなりですが私がこのレポートを書いているのは十一月初旬、つまりこの九月分のレポートの存在を一ヶ月間忘れていたことを意味します。それだけ充実した時間を送っていたのかという解釈をしていただくと幸いです。

今回の報告書ではアメリカに来て自分なりの視点で面白いと思った日本との違いを共有させてもらいたいとおもいます。

まず一つ目の大きな違いは現地校での人間関係です。英語という言葉には敬語という概念が存在しないため、同年代の友達に対する喋り方と先輩や先生方に対する喋り方が必然的に近いものになります。よってお互いに良い意味で気を遣わなくなり、とても距離感が近くなっています。自分の通っている現地校では誰が他学年かも分からないくらいに全ての学年の生徒同士に壁がなく、みんな仲がいいですし、先生ともとても気軽に世間話をする生徒を沢山見ます。どちらかが上だとか下だとかという立場の違いをお互いに全く意識していないように感じます。

二つ目の違いは常日頃から感じる「プレッシャー」の違いです。日本はアメリカと比べた際、授業の難しさや試験の過酷さ、人間関係の難しさなど普段から考えることが多く、日頃の負荷がアメリカより良くも悪くも多いように感じます。

アメリカに来てからは言語の壁に苦しむことは多々あるものの、日本にいた頃より気楽に生活できているように感じています。結局はどちらが自分に合っているのかを見極めるようなことではありませんが、とても自分にとって予測の出来ない違いだったので紹介させてもらいました。

かなり個人的な見解になってしまいましたがこれらが現状自分が強く感じた日本とアメリカの違いです。どちらも良くも悪くも細かいところでかなり大きな違いが存在します。自分にこの環境が合っているかどうか見極めるのは難しいですが、ただ一つ言えるのは今とても自分の生活が充実しているということです。決して楽しいことばかりではありませんが留学することを決めて良かったと強く感じています。これからの留学生活も違いを楽しみながら過ごしていきたいと思います。

次世代リーダー育成道場 10 期生 TK